

議案質疑

全議案に対する質疑は、9月9日に行われ、4人の議員が14項目に及ぶ質疑をしました。

その主なものは次のとおりです。

国保税滞納増加に値上げが与えた影響は

【質疑】国保税は平成20年度に平均28%値上げされ、滞納者も増加している。増加の原因は値上げによるものなのか。年度別の滞納者及び滞納額の推移は。

【税務部長】平成21年6月22日現在の状況は、滞納世帯4,428世帯、滞納額15億9,150万円。19年度と比較し、世帯数で2.3%の増、滞納額で1億8,170万円、12.9%の増である。また、所得階層別滞納者数は、200万円未満が79.5%。国保税に限らず、税の徴収率は景気に連動する傾向にある。

【質疑】対前年度比較で、1億9,000万円、率で12.9%増加し、滞納者の8割は所得200万円以下の低所得者。いくら値上げしても滞納はふえる。逆に値下げをす

れば滞納額の減少になり財政も良くなる。値下げは考えられないか。

【市長】国保税の税率について、今後慎重に検討していきたい。

【質疑】国保税の調定額に対する収納率の見込みは。

【健康増進部長】18年度の所得により試算。調定額40億1,797万余円、収納率は90%の36億1,617万余円を見込んだ。

【質疑】値上げによる増収見込額は。

【健康増進部長】約1億円である。

【質疑】19年度と20年度を比較すると、現年度課税分の収入未済額が約1億円増加しているの、国保税値上げ分1億円は相殺されていると思われるが。

【健康増進部長】ご指摘のとおりである。

【質疑】保険制度の維持に関して、健康増進部長は、受益者負担が原則との考えだが、再度の値上げがあるのか。

【健康増進部長】基本的には国民健康保険制度は現行法で運営されている以上、制度を維持していく使命があるのでご理解賜りたい。

【質疑】国民健康保険制度を保険税の値上げだけで維持していくことは極めて難しい状況にあると思うが、市長の考えを尋ねたい。

【市長】現実をよく把握し、調査研究の上、最善策を見出したいと思っている。（一問一答方式）



今年度の決算評価の方法は

【質疑】決算の成果説明書からは具体的な成果が読み取れない。どのような評価をされたのか。

【企画部長】財政運営上は、計画された各事業がおおむね完了し、歳入歳出の実質収支で20億円の繰越が生じている。しかし、財政健全化計画の特別会計や企業会計への繰出金、補助金を削減するという目標は達せられなかった。

【質疑】主要施策の成果説明書について、内部での評価が行われたのか。

【企画部長】前年度の評価方法に加え、施策評価を行った。前期基本計画に掲げた57施策を評価し、拡充を図る施策、現状のまま継続する施策、再構築が必要な施策、縮小を図る施策に分類し、22年度の実施計画策定に当たることとした。

【質疑】4つのパターンで評価したことはわかるが、補助金や扶助費についての評価は。

【企画部長】扶助費については、国の施策に関連して増加している。また、補助金については、補助金等検討委員会で市単独補助を見直した効果はあるが、広域事務組合への分賦金や市民病院への補助金の改善が必要である。

【質疑】行政改革について、行政改革大綱や財政健全化計画から見た評価をせざるを得ないが、市民の視点に立った評価も大切。市民の視点に立った評価はできないか。

【企画部長】今後の行政運営に当たっては、市民との情報の共有化が必要。新たに市の施策実施方針を策定しており、今後、施策評価については、市民に公表していきたい。

【質疑】決算について、市民の目線からの評価ができないか。

【市長】企画部長の答弁のとおり財政の健全化からの評価が一番と思うが、今後、あわせて、市民の目線からの評価も重要視したい。

(一問一答方式)



平成20年度決算書

体育館耐震補強工事の方法と年度末の耐震化率は

【質疑】Is値0.3未満の5校の小学校体育館の耐震補強の方法は。

【教育次長】上野小学校の体育館は、屋根の天井部と壁面のブレース(筋交い)部分の鉄骨の取りかえ及び筋交い部分の増設を行うとともに、主要なはりや柱の接合部分の補強工事として方杖を新設する。また、伊讃、養蚕、五所、河間小学校の体育館についても、上野小学校と同様の補強工事である。なお、伊讃、養蚕、五所、河間小学校の体育館については、雨漏り

に悩まされていることから、屋根の改修等も実施したい。

【質疑】平成21年度末で耐震化診断率は100%、耐震化率は39.4%との答弁が6月議会であった。今回1億7,799万6千円の補正が計上されているが、年度末の耐震化率は何%になるのか。

【教育次長】今回の補正予算を計上した小学校5校の体育館耐震補強工事が完了すれば、体育館が30%から55%に、校舎は38.5%から40.4%に、小学校全体では36.1%から44.4%になる。中学校合わせると44%となる。

(一問一答方式)



伊讃小学校体育館

医師確保の結果と今後の対応は

【質疑】市民病院の再建には医師の確保とビジョンを示すことが必要だが、新市長の今後の医師確保

の方針は。

【市長】今後の市民病院のビジョンとして、この地域の2次救急医療の確立を考えている。そのためにも、医師確保に最善を尽くしてまいりたい。

【質疑】医師確保に最善を尽くすとの答弁であるが、具体的な方策は。

【市長】医師確保については鋭意努力する所存であるのでご理解賜りたい。

(一問一答方式)

契約水量と必要水量の現状と見直しは

【質疑】契約水量と必要水量について、19年度決算での使用量は契約の42.5%。今年度はどのくらい使用されたのか。また、契約水量の見直しは。

【答弁】【上下水道部長】契約水量は県西広域水道事業に係る水道用水の需給に関する契約書により締結。市全体で一日最大給水量1万2千 m^3 、また、必要水量は20年度実績値で一日平均給水量2万4,742 m^3 、県水の一日本均受水量は6,447 m^3 、割合は54%。契約水量は一日最大の給水量の契約であり、一日最大の受水量は9,679 m^3 、割合は81%である。水道事業者は最も給水が必要

要とされる時期に備えて、水の安定供給を図る体制を整えることが責務であるため、契約水量の見直しは考えていないのでご理解賜りたい。

(総括方式)



五行川水管橋

特別会計への繰出金が多いとの指摘にどう対処するのか

【質疑】監査委員の報告では、一般会計から市民病院や広域事務組合への繰出金が多いため財政が圧迫されるとのことであるが、どのように考えるのか。また、次年度の予算編成に当たり今年度の決算をどう生かしていくのか。

【答弁】【企画部長】昨年度まで事務事業評価を実施してきたが、今年度から施策評価も行い、施策実施方針を決定。これに伴い実施計画の作成や予算編成を行う。このような流れの中で、問題・課題等を解決しながら、行財政運営に当たっていききたいのでご理解を賜りたい。

(総括方式)